

Office 2021 と Microsoft 365 を徹底比較！



2023年8月

株式会社ビズウインド

目次

1. Microsoft 365 と Office 365 の違い

- ①製品に含まれる機能とサービス
- ②使用期限について
- ③1ライセンスあたりのインストール可能台数
- ④支払方法と価格

2. Microsoft 365 を導入するメリット

1. Microsoft 365 と Office 365 の違い



① 製品に含まれる機能とサービス

製品名	Microsoft 365 Business Standard	Office Professional 2021
デスクトップ版Officeアプリ Word、Excel、PowerPoint、Outlook、Publisher、Access	○	○
チームワークとコミュニケーション	○ <Teams>	×
ファイルストレージと共有	○ <SharePoint /OneDrive>	×
セキュリティとコンプライアンス	○	×
Web版Officeアプリ	○	×
モバイル版Officeアプリ	○	×
サポート	○	×
新機能の自動更新	○ 常に最新機能が利用できる	×
		発売時点の機能のまま



Officeアプリ以外の様々なサービス・セキュリティ対策が含まれる

Officeアプリのみの利用

② 使用期限について

Microsoft 365 Business Standard	Office Professional 2021
使用中は永続	サポート終了まで永続



・使用料を支払っていただければ永続なのでサポート切れなどの心配も不要

・2026年10月13日にサポート終了
・延長サポート行われぬ

③ 1ライセンスあたりのインストール可能台数

<1ライセンスあたりのインストール可能台数>

Microsoft 365 Business Standard	Office Professional 2021
PC5台 タブレット5台 スマートフォン5台	PC2台



- ・Windows PCだけでなく、スマートフォンやタブレットなどにフル機能のOfficeアプリを5台までインストール可能（使用可能ユーザーは1人）

- ・Windows PCのみの対応で2台まで
- ・Office搭載済みのパソコンを購入した場合は基本的に1台のみ

④ 支払方法と価格

	Microsoft 365 Business Standard	Office Professional 2021
支払方法	【サブスクリプション型】 月々の使用料を支払っている間は使用可能	【買い切り型】 使用権を一括で購入する方式
価格(税込)	1,716円/月⇒20,592円/年	¥75,650



約3.7ヶ月の利用で同額となります。(65,784÷18,720=3.7)



単純に料金比較の観点で考えると
「Office 2021を購入するほうがお得なのでは？」と考えがちです。



しかし、
トータルで考えるとMicrosoft 365の方がメリットが多いのです。

2. Microsoft 365 を導入するメリット



■ 常に最新バージョンの機能・サービスを利用可能

Microsoft 365は常に最新バージョンを利用できるため、サポート切れやアップデートに伴う追加のコストが発生しません。また、細かいプログラムの修正も自動的に行われるので、管理者が細かいバージョンアップに気を配る必要もありません。

■ ライセンス管理の棚卸しが不要

パッケージ版Officeの場合、保有ライセンス数と利用数のすり合わせやバージョンごとのライセンス管理等が必要であり、棚卸の際に多大な時間がかかるという課題がありました。一方、Microsoft 365は、社員の入社・退社時に適宜ライセンスの付与・削除を行えるうえに、「社員数 = ライセンス数」として管理できることから、ライセンスの棚卸し自体が不要になります。

■ 初期投資を抑えられ、かつ運用コストも削減可能

パッケージ版Officeの場合は「ライセンス料金×利用する社員数」の合計を一括で支払う必要があります。一方、Microsoft 365はサブスクリプション型なので、支払いは月々もしくは年間と選ぶことができます。また、パッケージ版Officeの場合は、社内でファイルなどを共有するには社内設置型のサーバーが必要になります。一方、Microsoft 365はクラウドサービスであるため、サーバーの購入費用や毎月の保守運用費を削減することができます。このようにMicrosoft 365は、初期投資を抑え、サーバーの運用コストも削減できます。

■ クラウド上でファイルの管理・共有が可能

Microsoft 365で作成したデータは全てクラウド上で管理されており、場所やデバイスの制約を受けることなく自由に利用できます。

また、クラウドストレージが1TB無料で提供されるので、データをストレスなく保存、共有することができます。

■ Teamsによるコミュニケーションの効率化と円滑化の向上

パッケージ版Officeでは提供されないTeamsには、テキストチャットをはじめ、ビデオ会議・ファイル共有(共有したファイルはリアルタイムで共同作業が可能)などの機能が搭載されていますので、グループ内での情報共有やコミュニケーションの円滑化を図ることも可能です。

■ セキュリティ対策やサポートも充実

Microsoft 365には、多要素認証やファイルの暗号化といったセキュリティ機能やMicrosoft Azure Active Directoryの機能の一部が備わっており、データの編集権限を設定したり管理者側でパスワードのリセットを実施することも可能です。また、フィッシングやマルウェアへの対策も搭載されているなど、高度なセキュリティ環境下で業務を行うことができます。



Microsoftソリューションの導入で
貴社の業務改善を実現します！